

## 農村工学技術研修の開催

技術移転部技術研修室

### 1. 農村工学基礎技術研修（第1回）の実施

6月10日（火）～8月6日（水）の期間、参加人数27名（国）で実施しました。

本研修は地方農政局等に採用された入省2～3年目程度の職員を対象として、農村工学に関する基礎学力、基礎技術、基礎知識を習得し、農業農村整備事業に携わる若手職員としての資質向上を図ることを目的として実施されます。

約2か月（8週間）の研修期間のうち、座学はオンライン研修（3週間）とし、実習・演習は集合研修（5週間）のハイブリッド形式で実施しました。

研修内容は、数学、水理学、土質力学、構造力学、鉄筋コンクリートの設計などの座学に加え、水理実験・土質試験・コンクリート試験・測定の各種実習、また、擁壁・開水路・管水路の設計演習などの現地研修を行いました。



「基礎技術研修（第1回）」 実習状況（水理実験、土質試験、コンクリート試験、測量）

### 2. 農村工学専門技術研修（施設保安全管理）の実施

7月29日（火）～8月8日（金）の期間、参加人数15名（国：3名、県：7名、土地連：5名）で実施しました。

本研修は例年と同様に1週目をオンライン講義、2週目を集合形式のハイブリッド形式として農工研での研修は1週間のみとしました。

研修内容は、コンクリート構造物の保安全管理、ポンプ機能診断、パイプラインの補修・補強工法、ため池の機能診断などの座学とコンクリート構造物等の機能診断調査実習などの現地実習を行いました。



「施設保全管理研修」 実習状況（パイプひずみ測定、中性化深さ測定、ドローン飛行、摩耗測定）